



平成29年度 第1回 みみらんどセミナー

☆実施日時☆ 平成29年5月10日（水）13:15~14:30
 ☆テーマ☆ 「きこえにくい子どもの育ちを支えるために
 ~きこえにくさの理解と連携~」
 ☆講師☆ 福島県立聴覚支援学校福島校 教諭 今野千寿先生



「きこえにくいということ」
 きこえにくい子どもの困り感は、個人差が大きい。聴覚からの情報が制限されるため、自分では困った状況に気付けずに、困り感を訴えられない子もいます。

「きこえにくい子どもの育ちをささえるために」
 ○コミュニケーションの土台をしっかりと作ることが大切。
 ↓
 全人的な成長につながります。
 ※きこえにくいこと = 子どもの一部分

サポート1：きこえにくさの改善
 補聴器、人工内耳、集団補聴システムの活用

サポート2：環境面への配慮
 ・雑音や騒音の軽減 ・視覚情報の提示 等

サポート3：人としての育ちを支える支援
 ・子どもの全体像をとらえた子育て支援
 ・ケースバイケースのサポート

「サポートと連携」

☆保護者支援と地域支援☆

- ・乳幼児期（0～2歳頃）：早期補聴環境、子育て
- ・幼児期（3～5歳頃）：補聴環境、子育て
- ・学童期（6～12歳頃）：補聴環境、自己認識
- ・少年期（13～15歳頃）：自己理解・他者理解
- ・青年期以降（15歳以降）：よりよい人間関係作り

☆関係機関同士の連携☆

- ・きこえとことばの連絡協議会
- ・就学指導審議会
- ・特別支援教育コーディネーター

※年代や環境等で、きこえにくさによる困り感はそれぞれ異なる。



◇参加者の皆様からの感想◇
 「実際にどのように聞こえているのかを聞き、聞こえにくい子の世界が少しわかったような気がしました。」
 「サポートについては、年代別にお話していただけて分かりやすかったです。」

←資料の一部
 ※資料もありますので、必要な方はご連絡ください。